

株式会社内山武組



<主な業務内容>
土木工事・舗装工事・解体工事
KES ステップ 1 登録日
2010年8月1日



環境管理責任者の小倉様

今回お邪魔したのは、鹿児島市慈眼寺町にある株式会社内山武組様です。

KES に取り組んだきっかけは、鹿児島市の環境管理事業所に登録後、KES のことを「建設組合」の集まりで知り、取得したとのこと。

取り組み事例

KES を取得して 3 年目。電気・紙・ゴミの削減、社会貢献（県道・市道の清掃活動）に取り組んでいる。

特に、県道の清掃活動に力を入れて取り組む大きなきっかけは、産業道路の道路工事をしている際に、中央分離帯の植栽部分に沢山のゴミを発見したことから。

「KES を始めた事で、今までは気付かなかったところにも目を向けるようになったからです。」と定期的に清掃活動を続けている。

洗車などで使用する水は、大量に必要な為、川の水を使用し、紙に関しては電子化を進めるとともに、

工事関係の使用済書類の裏面を使っているとのこと。節電に関してお話を聞くと、「普段の作業中は安全面からも、一年を通して長袖の作業服。事務所内で業務をしているときは、私服の涼しい洋服でクールビズに取り組んでいました。ゴーヤのグリーンカーテンは、今年も取り組みまし



た。」と、工夫をされているようです。

また、「事務所でこまめに電気を消したりする従業員の姿をみると、KES への取り組みによって当初は意識して取り組んでいたことが、当たり前になり、習慣化している。『自宅に帰っても家庭で自然と節電が実践されている。』と感じます。」とのこと。

団結力

以前は、公共工事が多かったが、今は鹿児島市内を中心に、家の外溝工事にも力を入れており、「現場監督から作業員まで社内に揃っており、重機やダンプもあるので総合的に考え、対応できるのが強みですね。」と息の合った作業風景が目に見えます。

「2ヶ月に1回位、社員と居酒屋で食事をします。会社の中では硬くなるので、お酒の飲める席で色々な話をします。飲めない社員が半数位いても、柔らかい雰囲気の中で沢山の話をしてくれますよ。」「何をするにしても『チームワーク』が大事。社内の雰囲気を良くしていくために大切なことです。」と、何事に対しても生じる社員の「意識の差」を縮めていくためにはとても良い方法のようです。

これからの課題

「土木工事で使用するアスファルト等は、全て再生材を使用することが当たり前になっている。私たちも、家の解体工事の際に出るプランターを利用して花を置くなど、美化活動に取り組むことで、ポイ捨てを無くすることに繋がると思います。書類を『紙』のみでやり取りすることがあります。これが全て電子情報化すれば、紙の節約と仕事の効率化に繋がると思う。」と、これからの取り組み課題もあるようです。

「同業者の仲間で、KES には取り組んでいないものの、環境に対する取り組みを真似したくなる会社もありますよ。」というお話をお聞きして、「是非、KES の仲間に！」と感ずるところでした。

今回も貴重なお時間に、取材へのご協力いただき本当にありがとうございました。